



01. 記念撮影をする北白川宮

狩猟の服装である、大きなポケットの上着、ゲートル、靴に巻いた滑り止めがよくわかる。波多野御猟場監守長宅前。大正10年（1921）1月。波多野六之丞家文書追加 1-18（以下同）



02. 記念撮影をする狩猟参加者。手袋をし、銃を持つ。



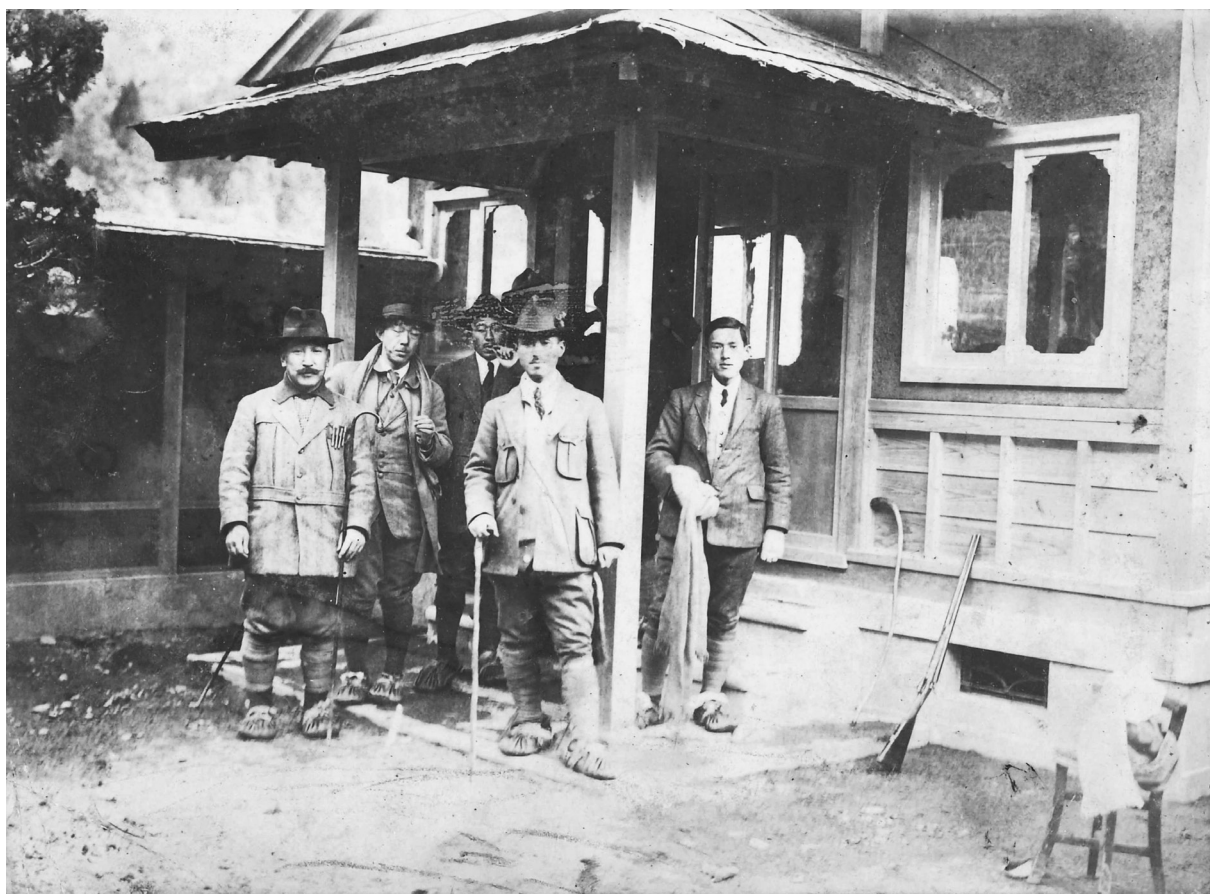
03. 雲ヶ畑川沿いの家で鳩を放つ両宮。
背中から脚にかけて毛皮製のものがみえる。山伏や山作業者が座る時に敷く引敷のようなものである。



04. 記念撮影をする狩猟参加者。立っているのは監守か。焚火を囲い暖をとる。波多野御猟場監守長宅前。



05. 記念撮影をする北白川宮。マフラーを巻き防寒。ステッキを持つ。



06. 記念撮影をする朝香宮。波多野御猟場監守長宅前。



07. 記念撮影をする朝香宮と狩猟参加者。



08. 猟中の昼食風景。

両宮は焚火の周りで椅子に座り、弁当・汁物・茶が出されている。他の者は伐木上か、立ったままである。

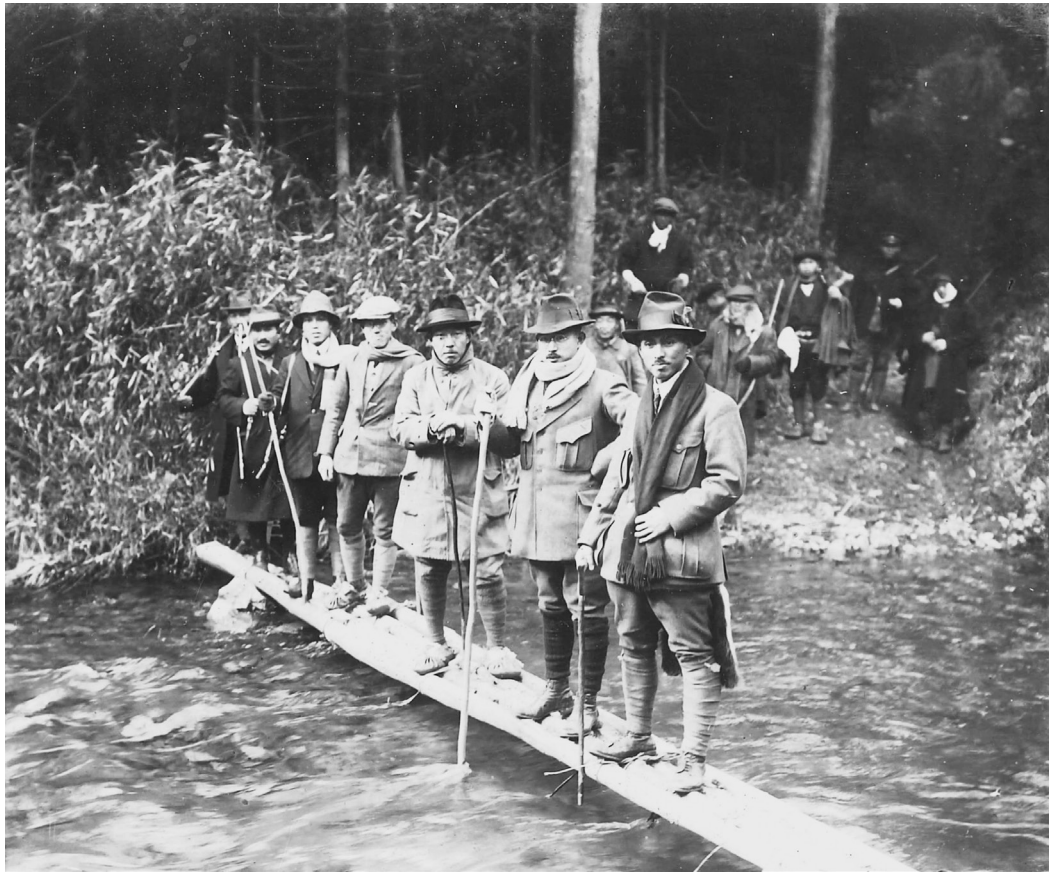


09.08 同じ場所で話しを聞く両宮。



10. 雪中の山林に座る人物。

おそらく狩猟の立場で待機する様子である。参加者はそれぞれの場所で、勢子や猟犬の追った獲物を待つ。



11. 木橋を渡る両宮。



12. 雪中の猟場で、獲物を前に記念撮影。



13. 大量の獲物を前に記念撮影。



14. 雪中を行く行列。

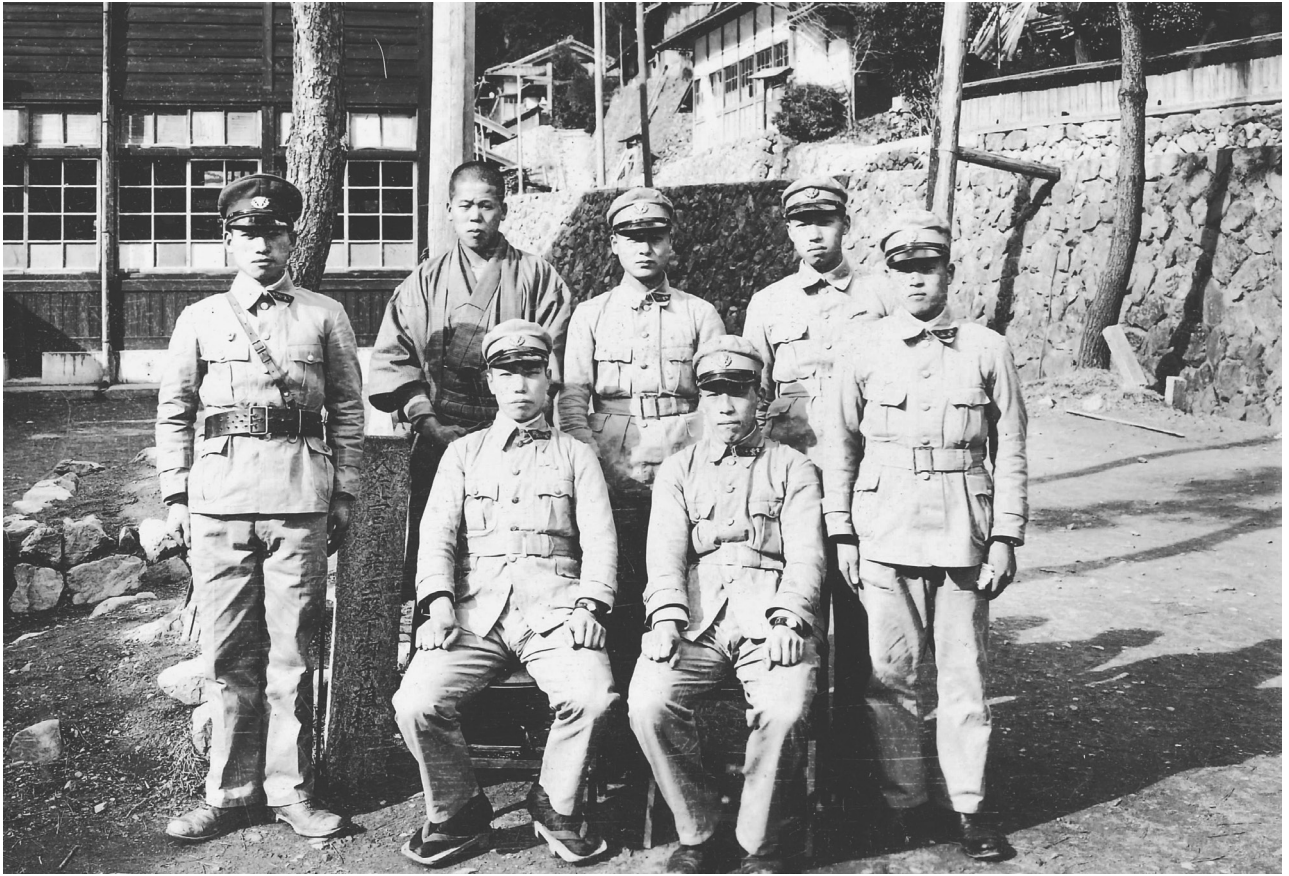
雪上にすでに道があり、服装から考えて猟場から帰還であった可能性がある。橋上にも人が続く長い集団である。



15. 東郷平八郎揮毫の忠魂碑の前で記念撮影。



16. 大正4年に死亡した猟犬2匹を弔う忠犬碑
揮毫は主猟官子爵織田信親、真弓地区に現存。



17. 「久邇宮邦彦王殿下御手植松」碑（雲ヶ畑尋常高等小学校）の前で記念撮影をする青年たち。



18. 関札「朝香宮殿下御宿舎」
波多野六之丞家文書追加 1-24。



19. 「朝香宮殿下御手植之月桂樹」碑
波多野六之丞家内に現存。

表紙の解説

	1 2 3
6	4
5	
(裏)	(表)

- 1 調査風景 (2016年7月5日)
- 2 「畑の節」の踊り (推定) (波多野六之丞家文書追加 1-18)
- 3 ACTR 成果報告会「地域の資料と雲ヶ畑の歴史」(2019年11月24日)
- 4 御用材を木馬で運び出したところ。巖島神社。(1928年7月19日)
波多野周造氏撮影。
- 5 鳩を放つ両宮 (波多野六之丞家文書追加 1-18)
- 6 御猟中、雪中の山林に座る人物 (波多野六之丞家文書追加 1-18)



京都府立大学文化遺産叢書 第22集

あこのろの雲ヶ畑 —京都雲ヶ畑写真資料調査報告—

編集 東 昇 ・ 中村 治
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5
発行日 2021年3月31日
印刷 株式会社オスカーヤマト印刷
